

第22回国土交通省独立行政法人評価委員会  
住宅金融支援機構分科会

(千葉民間事業支援調整室長) それでは、定刻より若干早いですけれども、ご出席予定の方々がそろわれましたので、ただいまから第22回独立行政法人評価委員会住宅金融支援機構分科会を開会いたします。本日は委員の皆様方にはご多用の中、またお暑い中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。私は国交省住宅局総務課民間事業支援調整室長の千葉でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は分科会委員8名のうち6名のご出席を賜っておりますので、国土交通省独立行政法人評価委員会令に定める会議の開催に必要な定足数を満たしておりますことをご報告させていただきます。角委員、土居委員は、ご都合により本日はご欠席でございます。

次に、本日の議事の(1)につきましては、独立行政法人の業務の実績に関する評価に係る案件でございますので、国土交通省独立行政法人評価委員会運営規則及び国土交通省独立行政法人評価委員会情報公開規則に基づき非公開とさせていただきます。

議事(2)の役員退職金に係る業績勘案率につきましては、非公開の議事ではございませんので、傍聴の皆様方には議事(1)に入る前にご退席いただいて別室にてお待ちいただき、議事(2)に入る前に再度ご入室いただく形を取らせていただきますことをあらかじめご了承願います。後ほど、係の者をご案内させていただきますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

開会に先立ちまして資料の確認をさせていただきます。お手元の配布資料一覧にございますように、本体資料につきましては資料の1-1から2-3まで、参考資料につきましては参考資料1から3までの資料をお配りしております。なお、本体資料の1-1から1-3まで、及び参考資料の1につきましては、非公開の議事に係る資料でございますので、委員限りとさせていただきます。資料に欠落などがございましたら、事務局までお申し出ください。

次に、国土交通省及び住宅金融支援機構の出席者は、お手元の出席者一覧のとおりでございます。人事異動がございましたので、新たに着任した方につきましてご紹介申し上げます。

住宅局長の橋本局長でございます。

(橋本住宅局長) どうも橋本でございます。よろしくお願いいたします。

(千葉民間事業支援調整室長) 大臣官房審議官の海堀審議官でございます。

(海堀審議官) 海堀でございます。よろしくお願いいたします。

(千葉民間事業支援調整室長) 大臣官房審議官の杉藤審議官でございます。

(杉藤審議官) 杉藤でございます。よろしくお願いいたします。

(千葉民間事業支援調整室長) 政策統括官付政策評価官の山田政策評価官でございます。

(山田政策評価官) 山田です。よろしくお願いいたします。

(千葉民間事業支援調整室長) 総務課民間事業支援調整室証券化支援対策官の石原対策官でございます。

(石原証券化支援対策官) 石原でございます。よろしくお願いいたします。

(千葉民間事業支援調整室長) 本日の議事は議事次第のとおりでございます。議事録につきましては、委員の皆様にご確認いただきました上で議事要旨とともに公表させていただきます。それでは、議事(1)の平成25年度業務実績評価に入る前に、傍聴の皆様にはご退席いただき、別室にてお待ちいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(委員) それでは議事に従いまして、最初は平成25年度業務実績評価でございますけれども、これにつきましては、まず評価の進め方について事務局からご説明をいただきます。

(事務局) 事務局からご説明します。業務実績評価の進め方についてご説明いたします。資料1-1をご覧ください。

評価の一連の手続につきましては既に委員の皆様ご案内のこととは存じますが、前回の委員会におきまして、平成25年度業務実績評価につきましては、機構により自己評価の説明があり、これを踏まえ、各委員より事前評価をいただいたところです。これらを元に分科会長が評価試案を作成し、事務局においてパブリックコメントを募集しました。本日は、分科会長の試案を元に平成25年度業務実績評価のご審議をいただきたいと存じます。以上でございます。

(委員) ありがとうございます。ということでございまして、前回、先月の分科会で皆様に付けていただいた事前評価を踏まえまして、私の方で資料1-3という評価書を作っております。これについて、パブリックコメントを事務局の方で実施しておりますようでございますので、それも併せて事前評定の分布状況、実績評価調書、パブリックコメントについてのご説明をお願いしたいと思います。

(事務局) では、事前評定の分布状況についてご説明申し上げます。資料1-2をご覧ください。縦に評価項目、横に機構の自己評価、さらに分科会長の試案である評定案、そして事前評定の結果、S、Aなどについて何名の委員がどの評価を付けたかということを示す数字で表してございます。各項目について、白いところと黄色く色塗りされたところがございますが、白いところについては8人の委員の皆様全員が同じ評定をされたものでございます。

黄色い升があるところは異なる評定がございましたところで、2か所ございます。1つ目が、1の③、「安定かつ効率的な資金調達」のところで、お一方からA評価をいただいております。ほかの委員の方からはS評価をいただいております。2つ目は、裏のⅢの予算のところでございますが、「収支改善」の項目についてお一方からS評価をいただいております。ほ

かの委員の方からはA評価をいただいています。

機構の自己評価と分科会長の評定案につきましては、一致をさせていただきます。

続きまして資料1-3をご覧ください。資料1-3につきましては、分科会長の評定案ということで評定理由、それから評定結果を記したものでございます。

飛びますけれども、最後、評価の総括表がございます。資料1-3の31ページをご覧ください。31ページに、総合的な評定を記載してございます。評価項目が19項目ございますが、Sが4、Aが15となっております。以下、総合評定の文面につきましては、個別の項目に対する評定理由につきまして、これを要約する形で網羅的に記載してございます。

また次のページ、32ページで課題・改善点、業務運営に対する意見等につきまして、事前評定の段階で各委員からいただいたコメントをこちらに掲載させていただいています。最後、32ページの総合評定でございますが、分科会長試案としましては、総合評定はAとし、その理由は、「評定の分布状況からして、ほとんどの項目において中期目標に対して着実な実施状況にあると認められるため」とさせていただいています。

以降、次のページからは別紙という形で14ページまでございますけれども、以降のページにつきましては、総務省の政策評価・独立行政法人評価委員会から示されている観点ごとにまとめた評価でございます。内容につきましては、機構の業務実績報告書及び分科会の業務実績評価調書と多数重複がございます。大半が重複でございますので、この場では説明を割愛させていただきたいと思っております。

最後にパブリックコメントでございます。分科会長に作成いただきました業務実績評価調書の案につきまして、パブリックコメントを実施いたしました。パブリックコメントは分科会において評価の参考とすることとされてございますけれども、今回につきましては意見がございませんでしたことを、ご報告いたします。事務局からの説明は以上でございます。

(委員) ということでございまして、資料1-2にありますように、各項目の評定については、ほとんどの項目で事前評価と同じ、自己評価と同じ状況。2か所違うところありましたが、これも状況としては委員の3分の2の方が同じ意見となっておりますので、これも問題なく評価ができたのではないかと考えております。

それから1-3の方にございました32ページのところの、「適切な内部統制の実施」という課題のところですけども、ここのところにつきましては、複数の委員から少しご意見がございましたので、このような形で整理させていただいたということでございます。

以上のことにつきまして、何かご質問があれば機構の方に伺っていただくと思うんですが、機構の方には後の議論のところではちょっとご退席いただきますので、この段階でご質問等がありましたら、お願いしたいと思います。よろしいでしょうか。特になければ、また議論の途中で聞きたいからという形で入っていただくことも可能でございますので、それでは、この段階で、機構の役職員の方について、ご退室をお願いします。

(機構退室)

(委員) それでは、平成25年度業務実績評価の審議に入りたいと思います。委員の皆さまから何かご意見ございましたら、ご自由にご発言ください。事前にご説明いただいておりますので、もう議論は済んでいるかもしれません。もしこの段階で特段のご意見がないということであれば、これで分科会としては了承するということになるかと思うのですが、よろしゅうございましょうか。

(「異議なし」の声あり)

(委員) ありがとうございます。1点だけ、この資料の1-1の最後でございますけれども、親委員会といいますか、国交省全体の評価委員会との整合性の関係で、何か調整しなければいけないということがもし出た場合には、最終的な分科会としての決定は私にご一任いただくということでお願いできればと思います。過去そういうことがあったことは1度もございませんので、たぶん今年もないと思いますが、何かあったときの一応保険のようなことでございますので、よろしく願いいたします。

それでは、この評価で確定するというにいたしたいと思います。どうもありがとうございました。それでは、また、お願いします。

(機構入室)

(委員) すいません、出たり入ったりしていただいて。それでは議事の(2)役員退職金に係る業績勘案率についてということで、議事に入ります。この件は機構から、まずご説明をお願いしたいと思います。

(中澤総務人事部長) 住宅金融支援機構の中澤でございます。よろしく願いいたします。私の方からは議事(2)の役員退職金に係る業績勘案率についてご説明をさせていただきます。

まず、資料2-1でございます。役員退職金に係る業績勘案率につきましては評価委員会の方にお決めいただくという形になってございまして、今年度、平成25年度中に退職した1名の役員、監事でございますが、これについての業績勘案率の決定をお願いしたいという形でございます。

資料2-2をご覧ください。退職した監事、伯耆でございます。任期でございますが、平成23年の4月1日から26年3月31日の3年間でございました。こちらの方の業績勘案率でございますけれども、案といたしましては1.0とさせていただきます。

法人の業績につきましては、25年度Aという想定で1.0とさせていただきます。それから個人業績につきましても、加算、減算するまでに至らないということで、0.0とさせていただきます。個人業績の内容でございます。適切な監査対象、方法を選定するというので、監査計画を作成し、監査業務を着実に実施したというところでございます。

具体的には、決算に関する監査につきましては、担当部署への個別インタビュー、書類の確認、監査法人とのディスカッションを実施いたしました。業務執行に関する監査にお

きましては、各部店長、支店長の自己評価シートに基づく言明調査を実施いたしました。次でございますが、随意契約、保有資産の見直し、それから給与水準の適正化等に関する監査につきましても、決裁文書の確認、担当者への個別インタビュー等を実施いたしました。

加えまして、役員会その他、重要な会議にご出席いただき、意見を述べるなど、牽制機能を発揮していただいたというところがございます。なお、在職期間に職員の不祥事、それから不適切な事務処理事案が判明いたしてございますけれども、上記とおり、求められる役割は果たしているという形でございまして、最終的には個人業績を加算、減算するまでには至らないということで、案を示させていただいております。

資料2-3をご覧ください。こちらの方につきましては参考資料ということでございますけれども、②から⑥まで「該当無し」という形で示させていただいております。私の方からの説明は以上でございます。

(村本分科会長) ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、何かご意見、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

それでは、私から質問させていただきます。自己評価シート等に基づく言明調査とはどのようなことをやったのですか。

(中澤総務人事部長) 自己評価シートに基づきまして、各所属長から口頭で説明を聞きまして、それについて質疑応答という形の中で、所属長のマネジメントを確認していったという形でございます。

(村本分科会長) ヒアリングということですか。

(中澤総務人事部長) ヒアリングでございます。

(村本分科会長) ディスカッションという意味ですね。

(中澤総務人事部長) はい、そうでございます。

(村本分科会長) ほかにいかがでしょうか。もしよろしいようでしたら、ご説明いただいたような形、法人の業績評価勘案率が1.0、個人業績の方は0.0ということで決定したいと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。

ありがとうございます。それでは、議事(2)の役員退職金に係る業績勘案率についてはこういう形でいきたいと思っております。ただ、先ほど申しましたように、議事(1)の方で多少変えなきゃいけないということがあると、多少整合性の問題がございますので考えなきゃいけないことがあるかもしれませんが、そのときにはまた私にお任せいただきたいと思っております。これもたぶん、そういうこと自体が起こらないだろうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それで、今日の議題は、議事は以上でございますが、事務局から何かございますか。

(千葉民間事業支援調整室長) これ以上は特にございません。

(村本分科会長) ありがとうございます。ミーティング自体はまだあると思っておりますけど、我々がずっとやってきた評価の作業はたぶんこれが最後になるのではないかと思います。

す。評価については長々いろいろありがとうございました。それでは、今日はこれで終わりにいたします。どうもありがとうございました。

(千葉民間事業支援調整室長) 円滑なご審議を賜りまして誠にありがとうございました。本日の審議内容につきましては、冒頭に申し上げましたとおり議事録を作成の上、ご出席の委員の皆様にご確認いただきまして、議事要旨とともに公表をさせていただきます。

以上をもちまして、第22回の独立行政法人評価委員会住宅金融支援機構分科会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。